

2022年1月26日
 国立情報学研究所
 学術コンテンツ課

国立国会図書館及び科学技術振興機構との連携について

1. 国立国会図書館および科学技術振興機構との連携

- 国立国会図書館（NDL）、科学技術振興機構（JST）、国立情報学研究所（NII）では、3機関での連携を具体的に推進するために、担当者レベルでの検討の場を設ける方向で調整を行った。

参考：第26回これからの学術情報システム構築検討委員会資料

- 令和3年度は、以下の3つの事業のうち、事業2を中心に検討を行った。

1	メタデータの相互運用性に関する検討ワーキンググループ	人や機関、研究成果等に関するメタデータについて、国内に多様な形式が存在することにより相互運用性が低いなどの課題がある。課題抽出および課題解決を検討する。
2	デジタルアーカイブのメタデータ流通検討	各大学図書館等でデジタル化された貴重書等のコンテンツについて、ジャパンサーチ等の統合検索サービスを通じてアクセスを可能とするためのシステム、メタデータ、識別子付与のあり方を検討する。
3	サービス連携に関する将来検討	現在サービスを行っている CiNii Articles, Books, Dissertations は、将来的に CiNii Research に統合予定である（CiNii Research は 2020 年に単独でサービス開始を予定している）。これに向けて、新システム上での各サービスとの連携等について意見交換を行う。 併せて、合理的なデータ連携のため、各機関または外部機関が付与している識別子の機械的連携に向けた検討も行う。例えば、NDL の記事書誌 ID と CiNii Articles の記事 ID を相互に持ち合うなど。

2. 事業2「デジタルアーカイブのメタデータ流通検討」

(ア) 令和3年度活動

- ・ NDL、JPCOAR(コンテンツ流通促進作業部会)、これからの学術情報システム構築検討委員会を中心に意見交換を行いつつ、DC-NDL および JPCOAR スキーマでの対応を前提とした『メタデータ流通ガイドライン』を作成した(令和3年度末公開予定)。
- ・ ライセンス記述に必要なメタデータ要素について、整理を行った。

(イ) 令和4年度活動予定

- ・ 『メタデータ流通ガイドライン』について、NDL 及び NII 提供サービスにおけるデータクレンジング(各要素のデータ妥当性確認および正規化)のアルゴリズム等、システム提供者向けの詳細情報について、調整する。
- ・ 課題3について、本年度これからの学術情報システム構築検討委員会にて作成した NACSIS-CAT の NCR2018 適用細則案に基づき、NDL サーチ等とのデータ連携について調整を行う。

3. 事業3「サービス連携に関する将来検討」

(ア) 令和3年度活動

- ・ NII において、下記を実施した。
- CiNii Research の API として ResourceSync を 10 月に公開した。
- CiNii Research と雑誌記事索引のデータ連携方法について、雑誌記事索引のデータ取得方法を NDL サーチの API を利用した方法での開発を行い、来年度から運用開始予定である。
- CiNii Research と NDL が提供する各種サービスとの連携方法について検討した。来年度以降、NDL サーチと CiNii Books、CiNii Articles との連携を CiNii Research の API を利用した方法に切り替えるための開発に着手する予定である。
- ・ CiNii Research の整備や研究データに関するメタデータフローの具体化を踏まえ、「データ連携一覧(一覧表、マッピング表、連携図)」を更新した。

(イ) 令和4年度活動予定

次年度は、6、7について引き続き検討を行う。

[進め方]

メーリングリスト、オンライン会議システムを用いて検討を進める。

[参加者]

大波特任准教授、阪口係長

(表1)

No.	課題	作業	担当	
1	DC-NDL と JPCOAR スキーマのデータ互換性確保	資料種別単位で項目を洗い出し、互換性確保のための項目調整	NDL	電子情報サービス課
			JPCOAR	コンテンツ流通促進作業部会
			NII	RCOS、学術コンテンツ課
2	デジタルアーカイブの流通に必要なメタデータ要素	データ項目のばらつきを整理	NDL	電子情報サービス課
			これから委員会	システムワークフロー検討作業部会
			NII	学術コンテンツ課
3	蔵書目録の高度化と統合	NCR2018、BIBFRAME等の新しい目録規則への対応方針を確認	NDL	電子情報サービス課
			これから委員会	システムワークフロー検討作業部会
			NII	学術コンテンツ課
4	識別子	識別子の付与とデータ交換時の取り扱いについて確認	NDL	電子情報サービス課 電子情報流通課
			JPCOAR	コンテンツ流通促進作業部会
			NII	RCOS、学術コンテンツ課

5	ライセンス	必要なメタデータ要素について確認の上、ガイドラインを作成	NDL	電子情報サービス課 電子情報流通課
			JPCOAR	コンテンツ流通促進作業部会
			NII	RCOS、学術コンテンツ課
6	サービスの将来像	双方の統合サービスの将来像を確認しメタ流通とサービス連携を描く	NDL	電子情報サービス課
			これから委員会	委員会、システムワークフロー検討作業部会
			NII	RCOS、学術コンテンツ課
7	API サービス	API のニーズ、データ交換に必要な API サービスの機能を整理	NDL	電子情報サービス課
			これから委員会	委員会 システムワークフロー検討作業部会
			NII	RCOS、学術コンテンツ課

以上